

なんで辞任したの？

なぜ選挙になるの？

橋下氏辞任の経過

2013年
1月

大阪都構想の議論を行う特別区設置協議会（法定協議会）が設置され、知事、大阪市長と9人ずつの府議、市議の計20人で構成。

2013年
8月

第6回法定協議会に橋下市長、松井知事が大阪市を解体し再編する4つの案を提案（人口30万人規模にする7区案と50万人規模の5区案があり、それぞれ北区と中央区の分離案か統合案がある）。

2014年
1月

第12回法定協議会（1月17日）で、知事、市長が4つの区割り案から「5区分離案」に絞り込むことを提案するが結論持ち越し。

第13回法定協議会（1月31日）、「1つの案に絞り込むのは時期尚早」との意見が出され自民、公明、民主、共産が継続した話し合いを主張。

2014年
2月

橋下市長が「逆切れ」、夏までに「5区分離案」の設計図をつくるため「住民の後押しが必要」として辞任、選挙を表明。

橋下市長が突然辞任し、6億円をかけた市長選挙が3月に行われます。辞任会見で「夏までに（議論がとん挫した）大阪都構想の設計図を作らせてほしい」と訴えます。市民生活にかかわる新年度予算を決める直前に、その責任を投げ出すなどおよそ考えられない非常識なことです。

何の大義も道理もありません

「大阪都」破たん逆ギレ
「選挙を」議会封じの道具に！

橋下市長の

6億円

出直し選挙

反対意見は排除する！？ 不当な争点づくり

けったいやな～…



選挙をしても議会や法定協議会の構成は変わりません。そこで橋下氏は「（出直し選は）法定協のメンバーを代えるかどうかの大戦だ」と発言し、自民、民主、共産3党の6名の委員を締め出すことを選挙の「争点」にするといい出しました。2月12日に「反対派も入れるが、維新過半数」とくるくる変えながら「議会封じ」「議会つぶし」は一貫しています。「選挙結果」によって議会に反映された「民意」を排除しようというのです。こんな「争点」はまさに不当です。

大阪都構想に反対する自民、民主、共産の議員を法定協議会から外すという主張について

どちらとも
いえない

賛成
18%

反対
63%

「朝日」
2月11日付より作成

ムダづかい 選挙に「大義なし」

市長選挙の「大義なし」との批判が強まる中、橋下氏は3日の辞任会見で「大義は大あり」と語気を強め「夏までに一案に絞った設計図を完成させる」と言います。要するに選挙に「大義」があるのでなく、「話し合いの継続」を求める議会の意思を無視し、自らがすすめる一案への絞り込みの「大義が欲しい」（2月1日の日本維新の会）だけなのです。「税金のムダづかい」の声があがるのは当然です。

「都構想」の是非は住民投票で？！

「都構想」の是非は「出直し選挙」ではなく「住民投票」でと橋下氏はいいますが、一昨年夏の記者会見でこんなことを語っていました。「住民投票があっても、問われるのは『区割り』だけ。『大阪都の是非』は問われません」。

つまり、「住民投票」で「×」とされても、その時に示した「区割り案」が否定されただけだから、別の「区割り案」を出して、やりなおせばいいと言っていたのです。これはペテンです。

予算決める直前 わがままの辞任で「大混乱」

市民生活に直結する予算が話し合われる前に市長が辞任を表明したことで市政は大混乱。日本維新の会の大会で橋下共同代表が「自分のことは自分で守る、自分のことは自分で決める」と発言していますが、石原共同代表でさえ疑問を示し、橋下氏自身も2月12日付ツイッターで「大義がないという。それはそうかもしれない」とつぶやいています。市民の代表たる市長として「自分のこと」だけでなく最低限の思慮が必要ではないでしょうか！



「大阪市をよくする会」機関紙
2014年2月17日 第366号

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6357-6139 FAX (06) 6357-5303

HP: <http://www.yokusurukai.com>
Mail: yokusurukai@nifty.com

大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、共産党、障連協、大生連、大借連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。

大阪市をよくする会と
明るい民主大阪府政をつくる会
の見解をお知らせします